

## 復興支援フォーラムニュース No. 68

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 ([tkonno67@gmail.com](mailto:tkonno67@gmail.com))

### 第 65 回ふくしま復興支援フォーラムでのご意見等

5月15日(木) 午後6時半から、第65回フォーラムを開催しました。

松野光伸氏(福島大学名誉教授)から、「飯舘村は負けない 復興の模索と課題」と題して、詳細な報告をしていただきました。33名の方々に参加していただきました。

フォーラム終了後、提出されたご意見等は、以下の通りです。参考にしてください。

~~~~~

★ 飯舘村から避難されている人との交流のしかた。自分の町会の例を考える機会をいただきありがとうございました。考え、ディベートできる飯舘の人々が、原発事故によって分断・対立していること、一日も早く元の関係に戻りますようお願いしています。(T.S)

★ 復興計画策定に際し、村民参加に重点をおき、自主的取組みによる成果としている背景が、よく理解できました。(K.F)

★ 復興とは何かを、改めて考えさせられました。(H.S)

★ 出身者でありながら、私の日常に福島のがき、悩みがないということに気づき、ゾッとしました。こういう機会は貴重だし、どんだん外に発信していくべきと考えました。飯舘村と村民が、これまでのまちづくりで培われた、たくましさをもって「頑張って」いることに感激しました。広域行政も一つの有効な提案ですね。(M.Y)

★ 飯舘村の根幹を為す農業に対して、除染や支援事業によって、しっかりと整備することに併せ、村外子育て等プロジェクト等の重点施策の策定を行い、グラフにあったような、帰村への揺らぐ想いに対応しようとする取組み、よく分かりました。(K.T)

★ 「復興」という言葉はよく使われます。しかし、各々が「復興」について、具体的にイメージできるのか。目標とする「復興」について、自分の中で明確にしていけるように(未だに不明確)、前進していかなければならないと思っています。(H.N)

★ 原発事故以前から、飯舘村を支援され、本当にご苦労さまです。前半の村づくりの成果が、事故後の復興・生活にどう生かされたかが、やや理解できなかつた。後半の復興の現状と方向が詳しくなってきたところで、終わりとなったのは残念だった。本で補おうと思います。

★ 飯舘に対する熱い思いが伝わり、よかった。(Y.M)

★ 村の復興と原発依存社会からの脱却を、どう発信するかが課題と思います。(H.K)

★ 帰還か移住かの二者択一ではなく、「安定的」避難生活という第三の道を追求していくべきというご意見には共感できました。後期計画の中でも、次々と飯舘村らしいアイデアが盛り込

まれているのだと感心しました。大変だと思いますが、以前のような、住民参加・参画に基く復興を目指してほしいと願っています。(H.S)

★ 帰るか帰らないかの二者択一を迫るわけにはいかない、決められない無回答が圧倒的に多い現状が改めてよく分かりました。(J.M)

★ 私個人の中で、復興計画の発想の転換くふるさと(地域)の復興・復旧→避難者個人(とその生活)を復興させる。>ができたことが、とても有意義でございました。(T.A)

★ 途中からの出席、すみません。飯舘の取り組みのスゴサを改めて確認するとともに、飯舘から避難自治体の共同・連携、そしてそれをとりまとめる県の役割の重要性を気づかせてもらいました。(E.C)

★ 村民ではありませんが、飯舘村が誇りに思えるお話が聞け、大変良い機会をいただけたと思います。戻りたいという方々が少ないという現実がありますが、飯舘の良いところ、ところ、人を残していただきたいと感じました。まずは、人が生活できる、自然を楽しむ為に訪れる事ができる所にするのが基本だとあらためて思います。(Y.M)

★ 椅子が固くつらかった。「戻れない現実」を冷静に受け止める時期だと思う。(M.S)

★ ほぼ全論点に言及・説明してくれた親切な報告であり、おかげで全体像がよくつかめたが、発声・発音がクリアーでないので、聞きにくかった。(S.I)

【予告】 =====

第 67 回 ふくしま復興支援フォーラム/2014 年 6 月 5 日(木) 18 時 30 分～20 時 30 分

渡辺利綱氏(大熊町長)「大熊町の被災の現状と復興の課題」

=====

第 68 回 ふくしま復興支援フォーラム/2014 年 6 月 19 日(木) 18 時 30 分～20 時 30 分

開沼博氏(福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任研究員)

「『理解の復興』と『生活の復興』・各論を超えて ～福島学構築のプロジェクトの取り組み～」

=====

第 69 回 ふくしま復興支援フォーラム/2014 年 7 月 3 日(木) 18 時 30 分～20 時 30 分

斎藤隆氏(公益財団法人福島県国際交流協会専務理事)

「外国出身県民にとっての東日本大震災・原発事故」

=====

以上の会場は、すべてく福島市アクティブシニアセンター「AOZ」大活動室1。